



青島の風

青島日本人学校だより
令和2年2月14日
校長 金森孝子

臨時号 4

学校からのネット配信による学級交流について

臨時休校中の児童生徒の学習を確保していくために・・・(2)

2月11日から12日(水)にかけて、日本政府は、浙江省に滞在した外国人の入国拒否を決定しました。続けて、外務省から、中国在留の邦人に、一時帰国を検討するようという発表がなされました。連日の状況の変化と日本政府の発表を受けて、職員は、どう動くことが、子どもたちにとって最善の方法かについて、日々悩みながら検討しています。

浙江省には、杭州日本人学校があり、そして、地図上ではそれほど遠くない距離に蘇州日本人学校、上海日本人学校3校があります。杭州日本人学校に状況を尋ねたところ、児童生徒、教職員とも今のところ全員と連絡がとれており、健康状態は変化ないことを確認できている、しかし、規制が厳しく、外出の制限を受けているため、生活面での不自由さがある、と。中国の日本人学校は、様々な連絡や情報、当面の課題の共有をはかりながら、管轄の省や市政府、教育局の通知に合わせる形で対応にあたっています。

さて、先日、文部科学省から、在宅で過ごす児童生徒の学習の確保ということで、公益財団法人海外子女教育振興財団の通信教育(本年1月～3月分)を今年度末まで無料で提供するという連絡があり、内容をお伝えいたしました。今後、詳細が決まり次第、申し込まれたご家庭に、連絡がいきわたるようにいたします。

それとは、別に、**現在、青島日本人学校独自で、ネット配信による学級交流を実施する計画を立てています。**長期化している臨時休校のなかで、学校として何か行えるのではないかと、ということで、すべての学年で取り組む予定です。但し、これには、保護者の皆様のご協力とサポートが前提になります。別紙のお知らせをお読みになり、ぜひとも参加をお願いしたいと思います。

※現在、教職員の感染を防ぐ、ということから、13日(木)より学校に日直を置かず、すべて、在宅で業務を行っております。HPの更新もメール等の受信も、在宅のまま行っております。ご理解をよろしく願いいたします。

令和2年2月14日 青島日本人学校長 金森孝子